

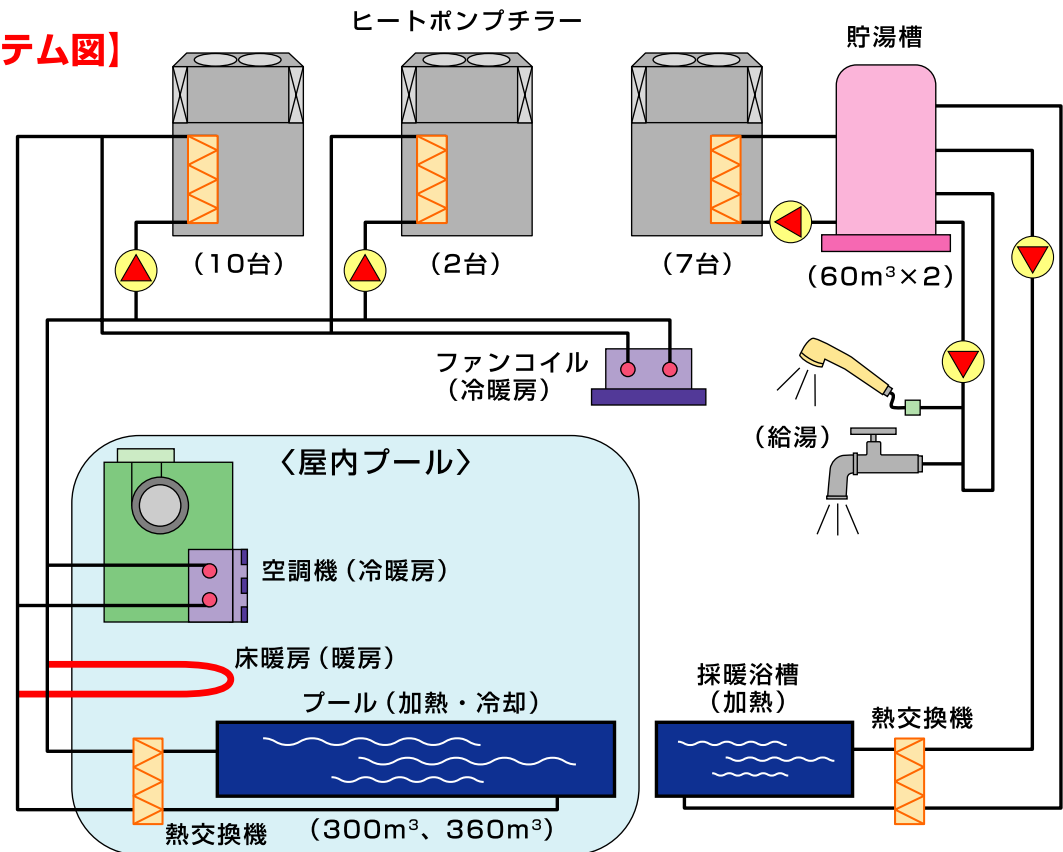
# 屋内プールへの夜間電力の採用

この施設では、昼間は空調用、夜間は安価な電力によりプールの水の冷却・加熱、および床暖房用と給湯用のお湯をつくるヒートポンプシステムを採用し、また、施設の一部に氷蓄熱エアコンを採用しました。

一般に夏場ではプール冷却の為、多くの水道水を使用します。ヒートポンプチラーを用いることでプール冷却が可能となります。

その結果、水道使用量が少なくなり、安価な夜間電力を使うことで総エネルギーコストの低減ができました。

【システム図】



## 改善効果

- ・都市ガス方式に比べ、年間エネルギー費用が低減できます。(約367万円/年)
- ・水道使用量が低減できます。
- ・蓄熱システムの採用により負荷率が改善します。

## 設備概要

(プール加熱・冷却、貯湯、空調)

・ヒートポンプチラー 15.9kW 19台

(空調)

・氷蓄熱エアコン 5.9kW 1台

・EHPエアコン 7.85kW 8台

・EHPエアコン 5.85kW 7台